



和弘食品株式会社

証券コード：2813

株主・投資家の皆様へ

第49期報告書

平成23年4月1日～平成24年3月31日

和弘食品の味づくり物語 …… P5

品質と安全を保證する監視システム …… P6

「本物志向」・「天然志向」・「健康志向」

を基本に、少量多品種短納期生産に磨きを掛け、
高付加価値の商品作りとお客様満足度向上に努めてまいります。



当事業年度におけるわが国経済は、歴史的な円高に加えて、東日本大震災による被害やタイ中部の洪水災害による製造業の不振、原発停止による火力発電用燃料の輸入増加や原油価格高騰などによる貿易収支の赤字転落などにより、将来に対する不透明感が高まりました。

食品業界では、震災後の自粛ムードや節約疲れの反動に、東北地方の一部では復興需要が加わり、部分的に回復感が見られたものの、原発事故による牛肉や農作物の放射能汚染や風評被害により、消費者の買い控えが起こるなど、全般的に盛り上がりには欠けた状況で推移いたしました。

こうした状況のもと、当社におきましては、全社的に業務品質と生産性を向上すべく、全社に「カイゼン

提案制度」を導入するなど、社内の業務・組織の改革に取り組むとともに、お客様のオーダーメイド商品のスピーディーで的確な開発、積極的なメニュー提案型営業活動に取り組んでまいりました。

その結果、当事業年度の売上高は、5,576百万円、営業利益は236百万円、経常利益は252百万円、当期純利益は141百万円となりました。(財務諸表は、P7をご覧ください。)

今後は、全社的に業務品質・生産性の向上を図り、競争力を強化すべく、引き続き、人材の育成と組織の活性化に注力してまいります。

生産部門では、「カイゼンプロジェクト活動」などに一層注力し、人材育成を通じて品質向上、コスト低減を目指してまいります。営業部門におきましては、従来からの業務内容を見直し、営業支援システムなどを活用しながら、人材育成、組織の活性化に注力し、営業活動全般の生産性向上を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

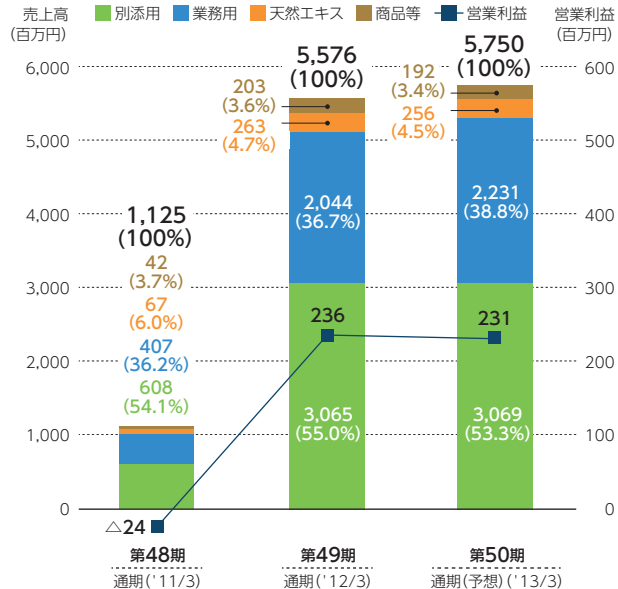
平成24年6月

代表取締役社長 **和山 明弘**

事業内容のご紹介

和弘食品は業務用調味料メーカーとして創業以来、豊かな大自然に恵まれた北海道にその根をおろしてまいりました。当社の味づくりの基本は北海道の新鮮な海の幸、山の幸から当社独自の製造技術と設備により芳醇な自然のうま味である「だし」「ブイヨン」を採り出すところにあります。そして、当社はそれらをふんだんに活用した本物志向の「つゆ」「たれ」「スープ」や「天然エキス」などの商品を食品メーカー、外食企業、コンビニエンスストアなどの流通企業に向けてメニューとともに提供してまいりました。当社は少子高齢化の進行など社会の変化に対応すべく今後とも高付加価値の本物志向・天然志向・健康志向の商品作りを目指すとともに「食の安全と安心」を徹底して追求してまいります。

区分	主要品目
別添用	各種調味料・スープ・たれ類
業務用	各種調味料・スープ・たれ類
天然エキス	エキス、ブイヨン等（コンブ・ホタテ・カニ・ポーク・チキン等）
商品等	メンマ、チャーシュー、かき揚げ等



※決算期変更に伴い、第48期事業年度は平成23年1月1日から平成23年3月31日までの3ヶ月間の変則決算となります。



別添スープ

業務用調味料メーカーの特長を生かし、独自の天然のうま味である「だし」「ブイヨン」を使用することで、より本格的な商品を提供しています。専門店の味をご家庭にお届けしております。

業務用スープ

専門店での仕込み作業を軽減し本格的な味づくりをバリエーション豊かに応援。主力のラーメンスープ他、ガラスープ、めんつゆ、外食関係、水産、畜肉等のメニュー作りをお手伝いする数多くの商品ラインナップがあります。数多くの繁盛店の応援をしています。



海産物エキス (ホタテエキス等)

当社主力製品の1つの海産物エキスです。北海道の大自然で育まれた新鮮素材を十分に吟味し、独自の製造技術により純粋な天然エキスを創りあげました。これらエキスは自社オリジナルの加工原料として、数多くの製品に取り入れられています。

通販

ご家庭で本格有名店の味をストレートスープでお楽しみいただける、つけ麺の通販サイト「スープランド共和国」を楽天市場にオープンしました。ラーメンスープ製造の特長を生かした、店主監修のスープをご家庭でお楽しみいただけます。



和弘食品の

味づくり物語

[#2] 海産物エキス

和弘食品の主力製品の1つ、海産物エキスです。北海道の大自然で育まれた新鮮素材を十分に吟味し、独自の製造技術により純粋な天然エキスを創りあげました。これらエキスは自社オリジナルの加工原料として、数多くの製品に取り入れられています。

コンブエキス

日本食の基本は「だし」にあります。昆布だしはその代表格です。カツオ節に代表される魚のだしも昆布だしと上手に組み合わせることで料理の幅が広がります。昆布はそのほとんどが北海道産ですので、当社にとって大切な地元産品です。本品はそのうま味を十分に引き出したコンブエキスです。



使用量はお使いになる食品によって変わりますが、昆布だしとして0.5～5%に希釈して使用されています。

ホタテエキス

オホーツクの海の恵みをたっぷり含んだホタテ貝。当社のホタテエキスSは、その貝柱のうま味を損なわないよう低い温度で濃縮した製品です。いっさい調味料を含まない100%天然の風味です。



つゆ、たれ類に0.5～2%、スープ類に0.5～3%、総菜類に1.0～2%、水産練り製品に1.0～2%など、様々な調味に使用されています。

品質と安全を保証する監視システム

最新鋭のシステムを備えた生産工場では、HACCPを基準に、原料の購入検査に始まり、工程検査、品質検査から出荷検査にいたるまで、あらゆる工程で厳重な検査・管理が行われております。厳しい人の目とコンピューターによるダブルチェックシステムで、安心・安全・信頼の商品をお届けしています。





財務諸表

貸借対照表

(単位：千円)

科目	第49期 通期 (平成24年3月31日現在)
資産の部	
流動資産	3,075,653
固定資産	2,201,533
資産合計	5,277,187
負債の部	
流動負債	1,065,949
固定負債	217,229
負債合計	1,283,178
純資産の部	
株主資本	3,983,724
評価・換算差額等	10,284
純資産合計	3,994,008
負債及び純資産合計	5,277,187

損益計算書

(単位：千円)

科目	第49期 通期 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)
売上高	5,576,680
売上原価	4,224,952
売上総利益	1,351,728
販売費及び一般管理費	1,114,901
営業利益	236,826
営業外収益	19,266
営業外費用	3,736
経常利益	252,355
特別利益	14,733
特別損失	28,586
税引前当期純利益	238,502
法人税、住民税及び事業税	86,778
法人税等調整額	10,680
当期純利益	141,043

キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	第49期 通期 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	555,062
投資活動によるキャッシュ・フロー	△171,641
財務活動によるキャッシュ・フロー	△26,390
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	357,031
現金及び現金同等物の期首残高	1,376,998
現金及び現金同等物の期末残高	1,734,029

IRサイトのご案内



決算の詳細な情報につきましては、当社ホームページの「IR情報」から「決算説明資料」でご覧いただけます。

詳細な財務情報はこちら

和弘食品

検索



会社概要

(平成24年3月31日現在)

会社名	和弘食品株式会社
(英文名称)	Wakou Shokuhin Co., Ltd.
設立	昭和39年3月30日
資本金	1,413,796千円
本社所在地	北海道小樽市銭函3丁目504番地1
従業員数	143名(左の従業員の他に臨時社員等を雇用しており、年間の平均雇用人数は91名であります。)

取締役及び監査役

【取締役】

代表取締役社長	和山明弘
取締役副社長	市川敏裕 (営業本部長兼営業企画部長兼生産本部管掌)
専務取締役	中島康二 (管理本部長兼経理部長兼経営企画室長兼提携業務推進室長)
常務取締役	後藤政弘 (商品部長兼品質保証室長兼CVS部担当)
取締役	城畑孝康 (生産本部長兼北海道工場長)

【監査役】

常勤監査役	清水裕雄
監査役	森本 清 (森本清税理士事務所代表)
監査役	森川潤一 (森川公認会計士事務所代表)

※ 監査役のうち森本清氏及び森川潤一氏は、社外監査役であります。また、監査役森本清氏及び監査役森川潤一氏は株式会社大阪証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。

本社、支店ならびに工場所在地





株式情報

(平成24年3月31日現在)

発行可能株式総数	16,600,000株
発行済株式の総数	9,493,193株
株主数	2,498名
総株主の議決権の数	8,180個

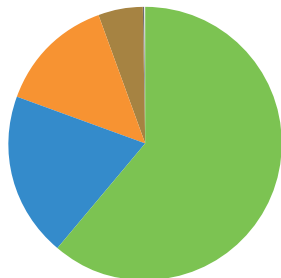
大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
和山 明弘	1,661	20.28
日清オイリオグループ株式会社	1,600	19.53
和山 けい子	610	7.45
株式会社北陸銀行	190	2.32
株式会社北海道銀行	142	1.73
日本生命保険相互会社	100	1.22
中川 なを子	80	0.98
和弘食品社員持株会	67	0.82
三菱UFJ信託銀行株式会社	50	0.61
船橋 富吉	45	0.55

※ 1.当社は、期末日現在自己株式を1,304,522株所有しております。
 2.持株比率は自己株式(1,304,522株)を控除して計算しております。

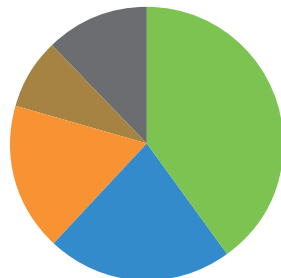
株主構成

[所有者別(株式数)(株)]



●個人・その他 5,825,065 (61.36%)
 ●その他法人 1,836,500 (19.35%)
 ●自己株式 1,304,522 (13.74%)
 ●金融機関 523,000 (5.51%)
 ●金融商品取引業者 2,106 (0.02%)
 ○外国法人等 2,000 (0.02%)

[地域別(株主数)(名)]



●関東地方 1,001 (40.07%)
 ●近畿地方 550 (22.02%)
 ●中部地方 435 (17.41%)
 ●北海道地方 210 (8.41%)
 ●その他 302 (12.09%)

株主メモ

事業年度	4月1日から3月31日まで
定時株主総会	6月
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
株主名簿管理人特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (フリーダイヤル)
上場証券取引所	大阪証券取引所
公告方法	電子公告により当社ホームページ (http://www.wakoushokuhin.co.jp/) に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
証券コード	2813 (大阪証券取引所)

【お知らせ】 ご注意

- ①株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- ②特別口座に口座をお持ちの株主様の各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
- ③未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



株主優待制度のお知らせ

当社では、株主様への利益還元、サービスの一環として株主優待制度を導入しております。

- 1) 1単元以上10単元未満をご所有の株主様に、2,000円相当の北海道産品の詰め合せ
- 2) 10単元以上をご所有の株主様に、5,000円相当の北海道産品の詰め合せを1箱贈呈いたします。

配達は平成24年7月25日(水)を予定しております。

※配達希望日の変更、配達先の変更がある場合のみ、同封しておりますはがきに必要事項を記入の上、7月6日までにご投函ください(切手不要)。

ヤマト運輸による発送のため、株主様ご不在の場合は、最寄のヤマト運輸営業所に7日間留め置かれます。留め置き期間が過ぎ、優待品の入手が不可能となった場合には、弊社総務課へご連絡ください。(TEL. 0134-62-0505)



株主優待品(一例)

ラーメン産業展に出展いたしました!!

平成23年度の販売促進活動の一環として、
パシフィコ横浜で開催された『第6回ラーメン産業展』へ出展いたしました。
3日間で、26,272名の来場がありました。
当社は得意のラーメンスープとして、「濃厚煮干ラーメン」「濃厚味噌ラーメン」
「焼き味噌つけ麺」を出品いたしました。
それぞれの味のラーメン・つけ麺を大勢のお客様にご賞味いただき、
有効な商談を進めることができました。
今後も多くの方々に当社製品のPR、積極的な売込を推進してまいります。



NOODLE WORLD

和弘食品株式会社

北海道小樽市銭函3丁目504番地1 <http://www.wakoushokuhin.co.jp/>



環境保全のため、植物油インキを使用しています。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。